

JEC関連 掲載記事

2021.6~2022.5

北日本新聞 2021年6月1日(火)掲載

DX支援が補助事業に採
択 シェック経営コンサル
タ(富山市湊入船町、山瀬
孝社長)が中小企業を対象に
取り組むDX(デジタルト
ランスフォーメーション)への
支援が、経済産業省の補助事
業に採択された。非対面型の
営業システムの構築など3種
類が対象。

富田社長 短
信

北日本新聞 2021年6月17日(金)掲載

台湾で販路開拓強化



時計製造 タカタレムノス

有名書店と取引開始

デザイン時計製造・販売のタカタレムノス(高岡市早川)高田和喜社長は、台湾での販路構築に注力している。台湾には2009年から輸出しているが、昨年からは新たな現地代理店と組んで自社ブランドのアーティクルを強化。台湾唯一の書店として知られる「誠品書店」に販路を開拓するなど取引先は16社まで拡大している。(高倉陽)

タカタレムノスの時計は、きめ細かな設計とデザイン性の高さが特徴。近年、海外向けが伸び売上高全体の約1割強を占める。海外の内訳は中国が4割強、欧米が4割、残りは中国以外のアジア各国・地域で、中で

も台湾は「取引額はまだまだ少ないが、今一番成果が出ている」(同社)という。好調な海外販売などが寄与し、2021年6月期は増収増益を見込む。台北市内にある誠品書店とは今年から取引を開始。書籍や文具、雑貨など独自のセレクトで「アジアで最も優れた書店」などと評価され、一昨年には日本に初

誠品書店の売り場の一角に並んだタカタレムノスの商品(台北市)

県内企業が海外展開先として台湾市場に注目し、販路開拓を進める動きが相次ぐ。能作(高岡市オフィスパーク、能作克治社長)は昨秋に台湾の金属製品メーカー「LOTA(ロタ)」と合併企業「能作アレシヤスタル」を設立。自社のデザイン力とロタの生産力、国際ネットワークを生かし、アジア、欧州といった世界市場で新ブランド展開を目指す。現地の文化に応じたテーブルウェアなどを投入する計画だ。チェック経

県内企業 注目の市場

営コンサルタラント(富山市湊入船町、山瀬孝社長)が同社の海外展開をサポートしてきた。ものづくり以外の製菓分野でも、県内企業と台湾の商社やメーカーとの提携が本格化している。財務省が5月に発表した貿易統計によると、日本の輸出額は前年度比8.4%減の69兆4874億円、うち台湾への輸出額は前年度比2.7%増の4兆8749億円で、輸出先として近年増加傾向が続いている。

進出し話題になった。展示会で同書店のバイヤーの目に留まり、代理店を新しく構築したことが販路開拓で奏功したと言いつ、台湾でブランドを訴求する上でも重要で、大きな自信になった」と語る。現地ではほかに、インテリア店やセレクトショップが取り扱う。今後の展開について同社は「取引先の数を追いつくのではなく、コンセプトや商品の背景を丁寧に説明し関係性を強化していきたい」としている。

うでも経済



中日新聞 2021年7月9日(金)掲載



地元で取れた野菜などを手渡す鈴木社長（右端）＝瀬戸市川端町で

瀬戸の農作物を福祉施設へ

開業10周年で企画道の駅しなのの贈る

瀬戸市品野町の道の駅「瀬戸しなの」で販売されている地元の野菜などが八日、市内十四の社会福祉施設に贈られた。

開業十周年を記念して、道の駅瀬戸しなのの株式会社が地元への感謝として企画。市社会福祉協議会が協力し、ジャガイモ百四十キや二十個入りの卵を十四セット、スイカなど十五種類の農作物を届けられた。

この日は瀬戸市川端町のやすらぎ会館で贈呈式があり、同社の鈴木政成社長や施設職員ら約二十人が参加。鈴木社長は「福祉施設などのみなさんは、コロナ禍の中で不自由な思いをしていると思う。気が減入りそうなかでも瀬戸のおいしい農作物で食事の楽しさを感じてもらえれば」と期待した。

寄贈先の一つ、同市上品野町の社会福祉法人くわの実福祉会障害者支援施設まゆの加藤和延施設長は「すごくありがたい。食事にプラス一品という風でもいいので、利用者喜んでもらいたいです。厨房と相談します」と笑みをこぼした。

（吉本章紀）

富山新聞 2021年8月2日(月)掲載



高岡万葉大使として活動する中井さん（左）と高岡さん
＝高岡駅ビル「クルン高岡」

高岡万葉大使に
中井、高岡さん

高岡万葉大使の認証式では、中井遥香さん(23)＝高岡市、会社員＝と高岡慧さん(21)＝同市、学生＝があいさつした。

まつりは7日まで行われ、七夕飾りが夜間ライトアップされるほか、短い短冊コーナーを巡るスタンプラリーが行われる。

北日本新聞 2021年8月12日(木)掲載

笑顔・元気に
古里をPR

万葉大使が抱負

高岡 高岡市の観光PRに携わる高岡万葉大使に就任した中井遥香さん(23)＝会社員＝と高岡慧さん(21)＝富山高専国際ビジネス学専攻2年＝が11日、北日本新聞西部本社を訪れ、抱負を語った。

米国などへの留学経験があり英会話が得意な中井さんは「笑顔で元気に高岡市



高岡万葉大使に就任した高岡さん（左）と中井さん

をPRしていきたい」と話し、日頃から会員制交流サイト(SNS)を活用する高岡さんは「SNSなどで高岡の魅力を発信していきたい」と述べた。

応募者11人の中から選ばれ、1日に高岡七夕まつりの会場で委嘱を受けた。任期は2年。



北日本新聞 2021年8月14日(土)掲載

北日本新聞 2021年8月12日(木)掲載

北日本新聞 2021年9月11日(土)掲載

「のわまー」の一角
宮城県大崎市の特産品をそろえた

宮城大崎の「のわまー」
宮城県大崎市の特産品をそろえた「のわまー」が、黒部市で営業を始めた。5〜6月の第1弾が好評だったことから、市内2カ所で再び開くこととした。市地域観光ギャラリー内の「のわまー」には、ずんだ餅や牛タン、しそ巻、ワインなど25種類がそろった。フェアと同じ会期中、黒部市図書館は「ミニコーナー」で「大崎市を知ろう」を設け、関連する50冊を紹介している。大崎市図書館では11日から黒部に関する企画展を開く予定。

宮城大崎の「のわまー」
宮城県大崎市の特産品をそろえた「のわまー」が、黒部市で営業を始めた。5〜6月の第1弾が好評だったことから、市内2カ所で再び開くこととした。市地域観光ギャラリー内の「のわまー」には、ずんだ餅や牛タン、しそ巻、ワインなど25種類がそろった。フェアと同じ会期中、黒部市図書館は「ミニコーナー」で「大崎市を知ろう」を設け、関連する50冊を紹介している。大崎市図書館では11日から黒部に関する企画展を開く予定。

災害協定結び交流
宮城県大崎市は、いずれもYKKグループが立地し、温泉地があるなど共通点が多い。昨年10月に災害時の相互応援協定を締結し、結びつきを強めている。

のわまーと店長
おさともみ
小澤 友美さん

きょうも にっごり

のわまーとは、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅に隣接する黒部市地域観光ギャラリー内にあり、お土産を扱う。「観光客にとって最後の買い物の場所になる。楽しかったと思ってもらえるよう、笑顔でお出迎えしている」

新型コロナウイルス禍で来店客は減った。そんな中でも、足を運び、声を掛けてくれる地域の人々の存在が励みになっている。「地元の人たちに愛されるお店を目指したい」と語る。(魚津市・48歳)

2021年10月12日 北日本新聞



高岡万葉大使
なかい ほか
中井 遥香さん

生まれも育ちも高岡市。8月1日に就任し、2年間の任期で古里の観光PRに携わる。応募のきっかけは「祖母が勝手に書類を送ったから」「祖母の期待に応え、大好きな高岡の魅力を発信したい」と意気込む。

普段は富山市内のコンサルタント会社に勤務し、趣味は食べ歩き。大使の公式インスタグラムは先月開設したばかりで、「おすすめの店をたくさん紹介するので、お楽しみに」
(高岡市・23歳)

きょうも にっごり

2021年10月15日(金) 北日本新聞掲載



新川高生 加積りんごバター改良

【魚津】新川高校(魚津市吉島)のコミュニティビジネス部は、2019年に開発した「加積りんごバター」の改良版を完成させた。果肉とバターなどで作った従来のものに、ペースト状のりんごも加え、味がよくなっているのが特徴だ。
【webuncに写真2枚】

魚津特産の加積りんごの発信や、規格外の美の有効活用が目的。部員は新型コロナウイルス禍で作れなかった昨年の分もおいしく仕上げようと改良した。杉本采香部長(3年)は「加積りんごのおいしさを知ってもらいたい」と話した。

市内の果樹加工組合「ウィータ・デ・フルッタ」がりんごを提供。部員が考案したパッケージに生徒と農家を描き連携を表した。

1個500円。ミラマルシェなど市内土産店で販売するほか、23、24の両日に富山市で開かれる越中や美食の王国フェスタにも出品する。問い合わせは同校、電話0760624-2015。

ペースト加え
よりおいしく

2021年10月16日(土) 富山新聞掲載

レストラン12月再開

高岡商工ビル 昨年4月から休業

高岡商工会議所は15日、高岡市の高岡商工ビル10階のレストランを12月1日にリニューアルオープンすると発表した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年4月から休業していた。

ジェック経営コンサルタント(富山市)に業務委託し、店舗面積約350平方メートルに44席を設ける。県西部6市の地元食材を活用した和洋中のメニューを提供する。

「加賀百万石の台所」と言われた高岡にちなむ特別御膳も検討する。店名は「ベルビュ」から変更し、新店名はメニューとともに11月中旬ごろまでに発表する。

総事業費は4千万円で高岡商工会議所と商工ビルサビュスが設備投資し、日本政策金融公庫と北陸銀行から計3千万円の協調融資を受けた。

2021年10月16日(土) 北日本新聞掲載

会員企業のDX支援

高岡商議所 活動指針を改定

高岡商工会議所は、2017年度に策定した10年間の活動指針「地域振興プラン」を改定した。会員企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)や働き方改革の支援強化が柱。中心商店街の空き店舗率の低減や、テレワーク導入企業を毎年10%ずつ増やす数値目標を盛り込んだ。15日の常議員会で承認した。

プラン策定から5年目を迎え、新型コロナウイルスなど社会の急速な変化に対応するのが狙い。交流人口の拡大による地域経済の活性化▽DX推進を柱とする企業競争力の強化▽働きやすい魅力ある都市づくりの三つの戦略で構成した。

交流人口の拡大に向けた施策や中心市街地のリニューアルにより、24年までに末広町商店街の空き店舗率を現在の28%から10%減らす目標を掲げた。創業・事業承継計画の策定支援にも力を入れ、20年に12件だった年間実績を24年には35件へ引き上げるとした。

タイトル」オンラインサミットの運営

2021年11月9日にオンラインで開催された「第10回安全・安心でおいしい地下水サミット」をKNB-e様と連携し、運営しました。



北日本新聞

2021年11月10日掲載

を次世代に引き継ぐため、住民総参加で取り組みたい」とあいさつ。意見交換では、地下水を活用した酒造りや、高校生ら住民参加型の環境保全活動などの取り組みが紹介された。林業衰退による森林の保水力低下といった課題も挙げられた。

富山大学長補佐の張勳教授が富山の気候変動と水循環をテーマに基調講演。環境保全課の武藤章裕主任が地下水の用途や保全への取り組みを説明した。



県西部の食材で和洋

高岡商工ビル レストラン改装開店

昨年4月から新型コロナウイルスの影響で休業していた高岡市の高岡商工ビル10階のレストランが1日、「商工レストラン松楓」としてリニューアルオープンし、県西部6市の地元食材を取り入れた和洋のメニューが提供された。写真。総事業費は4千万円で高岡商工会議所と、債務超過から経営再建した商工ビルサービス(旧商工レストラン)が設備投資し、店舗面積約350平方メートルに44席を設けた。



最新の調理施設も整備され、2階ホールでの宴会にも対応する。名称はビル1階に高岡生まれで金沢育ちの世界的化学者、高峰譲吉博士の別荘「松楓殿」を再現した施設があることから名付けた。オープニングでは、業務委託を受け

たジェットク経営コンサルタント(富山市)の五十嵐篤第四事業部取締役部長らがあいさつした。日替わりランチ(900円)や、A5ランクの県産和牛と高岡産コシヒカリを使用した「松楓ハヤシライス」(1200円)などが人気を集めた。

2021年12月2日(木) 富山新聞掲載

2021年12月2日(木) 北日本新聞掲載

オープンした商工レストラン松楓



高岡 高岡市の高岡商工ビル10階の「商工レストラン松楓」が1日、オープンした。昨年4月から休業していたレストランがリニューアルし、高岡をはじめとした県西部の食材を取り入れたメニューを提供

商工レストラン新装開店

若鶴酒造(砺波市)の酒を練り込んだそばを使う「となぎ若鶴の酒そば」や高岡産の野菜や県産の魚を用いる「海の幸 野の幸天ぷら重」などのメニューをそろえる。2階ホールでの宴会にも応じる。店名はビル1階に再現展示されている市出身の化学者、高峰譲吉ゆかりの「松楓殿」にちなんだ。平日午前11時~午後5時、同5時半~同8時半に営業する。運営していた商工レストランは社名を4月から商工ビルサービス(永田義邦社長)とし、同ビルの管理業務を受託する業態に変わった。増資を受けて厨房などを刷新し、ジェットク経営コンサルタント(富山市)にレストラン営業を委託した。

読売新聞 2022年1月28日(金)掲載



れんが葺りの歴史建物も、れんがの駅「瀬戸しのの」(瀬戸市)に福野調製センター

130年の伝統を誇る陶磁器産地・瀬戸市には、今も多くの窯元があり、職人文化が息づく。「瀬戸しのの」は2011年、県道10号沿いにオープンした。目印は、遠くからでも一目でわかる大きな煙突。それが張りのおしゃれなデザインは、焼きものや抹茶を表現しているという。認知度が高くなり、観光客が立ち寄り、おみやげや弁当などが売れるようになった。地元でとれた新鮮な野菜や果物、ジャムやロールケーキなどの「道の駅瀬戸しのの」が目玉商品だ。

「おむすびの目」に売られる「瀬戸おむすび」は、すくなく売れる人気商品

人気の日巻グルメ「瀬戸焼おむすび」は、しょうゆベースのあんがっぴに味付け

「おむすびの目」に売られる「瀬戸おむすび」は、すくなく売れる人気商品

人気の日巻グルメ「瀬戸焼おむすび」は、しょうゆベースのあんがっぴに味付け

「おむすびの目」に売られる「瀬戸おむすび」は、すくなく売れる人気商品

人気の日巻グルメ「瀬戸焼おむすび」は、しょうゆベースのあんがっぴに味付け

道の駅 Michi-no-Eki

「おむすびの目」に売られる「瀬戸おむすび」は、すくなく売れる人気商品

人気の日巻グルメ「瀬戸焼おむすび」は、しょうゆベースのあんがっぴに味付け

「おむすびの目」に売られる「瀬戸おむすび」は、すくなく売れる人気商品

人気の日巻グルメ「瀬戸焼おむすび」は、しょうゆベースのあんがっぴに味付け



瀬戸しのの(瀬戸市)



B級グルメを堪能



【住所】瀬戸市品野町1の126の1
 【電話】0561-41-3500
 【営業時間】午前9時～午後6時。「せとめし食堂」はモーニングが午前8時半～11時、ランチが平日午前11時～午後3時半、土日祝日が午前11時～午後4時半。年末年始休み。
 【駐車場・アクセス】東海環状自動車道・せと品野ICから車で5分。普通車57台、大型車12台、障害者用2台
 ※イベントなどは予定が変更になる場合があります

2022年3月12日(土)北日本新聞



営業再開が決まった弥陀ヶ原ホテル。立山町芦峰寺

弥陀ヶ原ホテル 5月再開

立山黒部貫光 ジェックに運営委託

立山黒部貫光(富山市校町)は11日、新型コロナウイルスの影響で休業していた弥陀ヶ原ホテル(立山町芦峰寺)の営業を5月13日に再開すると発表した。運営はチェック経営コンサルタント(富山市湊入船町)が担い、準備が整い次第、予約を受け付ける。ホテルは標高1930メートルあり、立山黒部貫光が運営する立山黒部アルペンルートの観光客らが利用する。宿泊客数が見込めないことから、2020、21年の2シーズンを休業した。

同社は長引くコロナ下で経営に打撃を受け、運営の委託先を探していたという。チェックとは4月以降に委託契約を交わす方針で合意している。チェックの担当者は「アルペンルートの大事な観光拠点として、楽しんでもらえる施設運営に努めたい」と話した。

立山黒部貫光は昨年3月末、宇奈月国際ホテルをルーティンジャパン(東京)に売却している。



2022年3月23日(水)北日本新聞

道の駅「KOKOKOへ」(黒部市堀切)が4月22日午後5時にオープンする。招待者が出席する開駅式は同日3時から。3月22日の市議会観光・都市活性化振興特別委員会で市が説明した。【webunに写真3枚】

来月22日

道の駅開業 心待ち 黒部

ふわふわドーム(中央)を備えたKOKOKOへの屋外スペース
 域振興施設や屋外スペースを視察した。屋内施設の大部分を占める地域振興施設は農林水産物直売所「瑞彩マルシェ」とキッズフロア、5店舗が食事を出すフードコート、物品販売施設「こられっと」が入る。屋外スペースはふわふわドームや築山展望台を見て回った。

市議ら視察

【各店舗の取り扱い商品】▽農林水産物直売所「瑞彩マルシェ」＝新鮮野菜、加工品▽フードコート①つばき食堂＝丼メニュー②Family Kitchen Kamome＝洋食メニュー③麺屋はなと＝ラーメン④練り天屋 生地蒲鉾＝かまぼこ、すり身揚げ⑤crepe de cocon＝クレープ、ソフトクリーム▽物品販売施設「こられっと」＝地ビール、土産品

「キッズドゥ」とやま版2022年4・5月号掲載



つばき食堂

株式会社ジェック経営コンサルタント

おいしい、うれしい、にっこり笑顔のワクワク食堂。生地漁港キトキト海の幸、富山湾の宝石“シロエビ”、安心・安全“とやまポーク”、新鮮地場産野菜などが満載!! お子様メニューも充実!! 職人技が光る“逸品”を家族みんなで味わってください。

ファミリー キッチン カモメ
Family Kitchen Kamome

株式会社ジェック経営コンサルタント

シェフ自慢のこだわりメニュー満載の洋食屋さんです。あつあつジューシー鉄板ハンバーグ、ふわとろオムライス、富山湾の紅ズワイガニクリームコロッケ、鮮魚のピヤベースパスタ、昔ながらのナポリタン、当店オリジナルカレー&スイーツ。キッズメニューも豊富!! 家族が笑顔になるたくさんの“おいしい”をお届けします。

